

科目名	授業名	担当教員
社会人基礎力&プレゼン表現Ⅰ	社会人基礎力&プレゼン表現Ⅰ(AF3)	弓矢 玲子 (実務家)
開講年度	開講学期	単位数
2026年度	前期	1
科目のねらい		
社会で活躍するための能力を身につける。入社後のみならず就職活動で作成するESや面接も想定し、「社会人基礎力」を踏まえた自己アピールに繋がられるようにする。また論理的思考や文章表現ができ、説得性の高いプレゼンテーションができるようになる。		
授 業 の 概 要		
《実務経験のある教員による授業科目》エアライン業界での勤務経験のある教員が担当。グループでのワークや個人ワークで、与えられた題材から判断、分析し、求められる人材になるための能力とその要素を養う。また、コミュニケーションスキル、パフォーマンス力を向上させるための論理的で説得性の高いプレゼンテーションを体験する。		
授業終了時の到達目標		
【専門知識スキル】：実際のビジネスシーンに於いて自身の役割を理解しチームで活躍できる能力及び発表力、表現力、プレゼンテーション力を身につける。【社会人基礎力】：社会人として必要な主体性、コミュニケーション力、表現力、自己演出力、情報整理、分析力、伝達力、傾聴力、計画性、発信力等あらゆる社会人基礎力を習得する。		
回	テ ー マ	内 容
1回目	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明、人生設計とキャリアデザイン、自己紹介1	自己紹介、自分はどう生きるのか、なぜ働くのかを考える、パワーポイント操作方法
2回目	自己紹介2	パワーポイント（スライドの作成）
3回目	自己紹介3	プレゼンテーションとして自己紹介をする
4回目	社会で求められる能力1／社会人基礎力・スピーチ	グループディスカッション
5回目	社会で求められる能力2／伝える書き方・スピーチ	メールの書き方、文章の書き方
6回目	社会で求められる能力3／伝える力・スピーチ	伝言の仕方、説明の仕方
7回目	社会で求められる能力4／コミュニケーション・スピーチ	グループディスカッション
8回目	プレゼンテーション1・スピーチ	スライド作成
9回目	プレゼンテーション2・スピーチ	スライド作成
10回目	プレゼンテーション3・スピーチ	スライド作成
11回目	プレゼンテーション4・スピーチ	スライド作成、発表練習
12回目	プレゼンテーション5	プレゼンテーション発表
13回目	プレゼンテーション6	プレゼンテーション発表
14回目	プレゼンテーション7	プレゼンテーション発表
15回目	総復習	自分は社会人としてどう生きるのか、どのような働き方をしたいのかを再度考える
教科書・教材		
配布プリント		
評価項目（評価の方法）		
出席点30%、平常点（課題提出、授業態度、参加意欲等）20%、グループワーク10%、プレゼンテーション40%		
その他		
進捗状況により、内容が変わる可能性有り。【受講ルール】提出物の期限遅れの場合は評価時の減点となる。スーツ着用の曜日であればスーツを着用し、身だしなみは「エアライン学科ゼミの身だしなみ基準」に準じたものであること。身だしなみのルールに反している場合は評価時の減点となる		

科目名	授業名	担当教員
社会人基礎力&プレゼン表現Ⅱ	社会人基礎力&プレゼン表現Ⅱ(AF3)	野崎 恵美 (実務家)
開講年度	開講学期	単位数
2025年度	後期	1
科目のねらい		
社会人としての考え方、常識を学び、社会へ目を向けるきっかけをつくる。		
授 業 の 概 要		
《実務経験のある教員による授業科目》エアライン業界での勤務経験のある教員が担当。 働くうえで必要な知識、考え方とともに、社会で求められる能力（社会人基礎力系）を身につける。		
授業終了時の到達目標		
【専門知識スキル】：グループ討議、ワーク、プレゼンテーションを通して、話す、聴く、協働力を高めることができるようになる。 【社会人基礎力】：コミュニケーションスキル、自分の意見を伝える、人の意見に耳を傾ける、他人に配慮する、基礎的なビジネスにおけるマナーを身につけることができる。		
回	テ ー マ	内 容
1回目	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明/キャッチフレーズ	社会人として何が今必要かを考える
2回目	社会で求められる能力/伝わる話し方、書き方1	わかりやすい話し方の組み立てを学ぶ、ビジネス文書、メールの方法
3回目	社会で求められる能力/伝わる書き方2	PPのソフトを使って伝えたいことをスライドにする。
4回目	グループワーク1・時事研究1	課題に対してグループの意見をまとめる。時事問題。
5回目	グループワーク2・時事研究2	課題に対してグループの意見をまとめる。 時事問題。
6回目	グループワーク3・時事研究3	発表。時事問題。
7回目	プレゼンテーション1・時事研究4	効果的なプレゼンテーションの基本を知る。 時事問題。
8回目	プレゼンテーション2・時事研究5	プレゼンテーション準備、時事問題
9回目	プレゼンテーション3・時事研究6	プレゼンテーション準備、時事問題
10回目	プレゼンテーション4・時事研究7	プレゼンテーション準備、時事問題
11回目	プレゼンテーション5・時事研究8	プレゼンテーション発表、時事問題
12回目	プレゼンテーション6・時事研究9	プレゼンテーション発表、時事問題
13回目	プレゼンテーション7・時事研究10	プレゼンテーション発表、時事問題
14回目	総復習	学びの総復習をする。時事問題。
15回目	まとめ	社会人になるために必要なこと
教科書・教材		
プリント配布、パソコン		
評価項目（評価の方法）		
【評価の観点】：平常点は、課題への取り組み姿勢、積極性、グループワークでの協調性や貢献度を加味して評価する。 【評価項目（評価の方法）】：出席点30%、平常点30%、グループ発表とプレゼンテーション40%		
その他		
【受講ルール等】：提出物の期限を守る。		

科目名	授業名	担当教員
業界研究 I	業界研究 I (AF2)	日下 清佳 (実務家)
開講年度	開講学期	単位数
2026年度	前期	1
科目のねらい		
<p>社会人として、将来どのような仕事があり、学んでいることとどのように結びつくかを知ることは、授業への動機づけだけではなく、仕事への夢が形になって現実化できる一歩である。ここでは、業界からのメッセージを聞く機会を増やし、学生のモチベーションを上げることをねらいとする。</p>		
授 業 の 概 要		
<p>《実務経験のある教員による授業科目》エアライン業界での勤務経験のある教員が担当。エアライン業界およびそれ以外の業界を多方面にわたって学び、視野を広げながら就職活動の準備ができるようにする。実際に企業の講演を定期的に聴講することで、緊張感を持ちながら準備を行う。学校生活における情報共有や連絡事項の場ともなる。</p>		
授業終了時の到達目標		
<p>【専門知識スキル】就職活動の準備に必要な知識を身につける。【社会人基礎力】主体性、働きかけ力、傾聴力、計画力、ストレスコントロール力、課題発見力。ディスカッションを通して、主体的に行動し、各自が発信しながら、就職活動について自らの問題点を見出す能力を身につける。</p>		
回	テ ー マ	内 容
1回目	科目のねらい、到達レベル、講義計画等の説明、エアラインのカリキュラム、メールの返信の仕方	(1) エアラインの授業カリキュラムおよび校外学習などの計画について知る (2) 就職活動の準備としてすべきことを考える
2回目	講演会1	(1) 講演会を聴いて、その業界の知識を深める (2) まとめの課題
3回目	業界ニュース、身だしなみ、マナー、ルール、資格試験について	(1) エアライン業界のニュースを読み、話し合う (2) 身だしなみなどのマナーやルールについて確認する
4回目	ハイパーQU、履歴書	(1) ハイパーQUの回答 (2) 履歴書の左半分の書き方
5回目	講演会2	(1) 講演会を聴いて、その業界の知識を深める (2) まとめの課題
6回目	各企業が求める人材とは	業界別の求める人材を調べる
7回目	講演会3	(1) 講演会を聴いて、その業界の知識を深める (2) まとめの課題
8回目	業界ニュース、資格・アルバイトについて	(1) エアライン業界のニュースを読み、話し合う (2) 資格・アルバイトについて確認する
9回目	講演会4	(1) 講演会を聴いて、その業界の知識を深める。 (2) まとめの課題
10回目	面接当日NG集、発声・笑顔トレーニング、面接過去質問例	面接当日のふるまい・表情・発声方法
11回目	講演会5	(1) 講演会を聴いて、その業界の知識を深める。 (2) まとめの課題
12回目	長所と短所	自分の長所短所を少ない文字で表現する
13回目	講演会 6	(1) 講演会を聴いて、その業界の知識を深める。 (2) まとめの課題
14回目	業界ニュース、弱点補強	(1) エアライン業界のニュースを読み、話し合う (2) 自分の弱点を補強する
15回目	前期の振り返り、夏休みの課題	前期の生活・学習計画を振り返る
教科書・教材		
なし		
評価項目（評価の方法）		
<p>【評価の観点】エアライン業界および語学力を活かせる業界への理解が深められているか。グループでの協同作業が円滑に行えるか。メモがとれるか。挨拶やメール返信など社会人として通用するマナーを身につけているか。【評価項目（評価の方法）】出席状況および授業への取り組み姿勢40%、課題・レポート・感想文の提出状況および内容40%、講演会での身だしなみ、メール返信、マナーなどの日常点20%</p>		
その他		
<p>【その他】3-4人のグループワークも適宜取り入れ実施。 【受講ルール等】資料配布は授業内とする。講演会ではメモを取る習慣をつける。進捗状況により内容変更の可能性はある。</p>		

科目名	授業名	担当教員
業界研究Ⅱ	業界研究Ⅱ(AF1)	野崎 恵美(実務家)
開講年度	開講学期	単位数
2025年度	後期	1
科目のねらい		
<p>社会人として将来、どのような仕事があり、学んでいることとどのように結びつくかを知ることが、授業への動機づけだけではなく、仕事への夢が形になって現実化できる一歩である。後期では、自ら情報を収集・分析することで学生のモチベーションをさらに上げることをねらいとする。</p>		
授 業 の 概 要		
<p>《実務経験のある教員による授業科目》エアライン業界での勤務経験のある教員が担当。エアライン業界およびそれ以外の業界を多方面にわたって学び、視野を広げながら就職活動の準備がさらにできるようにする。企業および卒業生による講演を聴講する。学校生活における情報共有や連絡事項の場ともなる。履歴書の書き方を学ぶ。</p>		
授業終了時の到達目標		
<p>【専門知識スキル】：就職活動の準備に必要な知識を身につけ活用することができる。</p> <p>【社会人基礎力】：主体性、働きかけ力、柔軟性等。ディスカッションを通して、主体的に行動し、各自に発信しながら、就職活動について自らの問題点を見出す能力を身につけ、行動することができる。</p>		
回	テ ー マ	内 容
1回目	科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明 エアラインゼミの後期カリキュラムについて 進級条件の確認 学習・生活計画表を作る	エアラインゼミの後期カリキュラムについて知る。後期の目標を各自で設定し、達成のためにすべきことを考える。
2回目	夏休み課題の振り返り、長所短所をひとことで	夏休みの課題を振り返る 長所短所を簡潔に言う
3回目	業界ニュース グループワーク 履歴書(右側)	エアライン業界の最新ニュースを調べ、グループで話し合い、発表する 履歴書「私の特長」について考える
4回目	企業学内セミナーまたは卒業生講演(仮予定)	企業または卒業生による講演を聴講する
5回目	学園祭準備	学園祭に向けての計画、準備
6回目	学園祭準備	学園祭に向けての計画、準備
7回目	PROGテスト(仮予定)	社会で求められる汎用的な能力を測るアセスメントテストを実施する
8回目	接遇コンテストの練習	週末に控える接遇コンテストの演技を練習し、本番に備える
9回目	後期の振り返り 合同企業展の準備	後期授業を振り返る 合同企業展参加企業について知る
10回目	企業学内セミナーまたは卒業生講演(仮予定)	企業または卒業生による講演を聴講する
11回目	冬休みの過ごし方 就職活動の計画	冬休み中に各自で進めるべきことを確認。 就職活動の予定、留学中に進めるべきことを確認。
12回目	企業学内セミナーまたは卒業生講演(予定)	企業学内セミナーまたは卒業生講演
13回目	講演会「労働法セミナー」(予定)	労働条件や労働法、労働トラブルなどについて外部講師のレクチャーを受ける
14回目	企業学内セミナーまたは卒業生講演(予定)	企業または卒業生による講演を聴講する
15回目	後期の振り返り	PDCAを考慮し、生活・学習計画表を記入する 春休みの計画を考える
教科書・教材		
なし		
評価項目(評価の方法)		
<p>【評価項目(評価の方法)】：出席状況および授業への取り組み姿勢40%、課題・レポート・感想文の提出状況および内容40%、講演会での身だしなみ、メール返信、マナーなどの日常点20% 対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。進捗状況により内容変更の可能性があります。講演者の予定によって大幅なスケジュール変更の可能性あり。【評価の観点】：エアライン業界および語学力を活かせる業界への理解が深められているか。グループでの協同作業が円滑に行えるか。メモがとれるか。挨拶やメール返信など社会人として通用するマナーを身につけているか。</p>		
その他		
<p>【その他】：3-4人のグループワークも適宜取り入れ実施。</p> <p>【受講ルール等】：資料配布は授業内とする。講演会ではメモを取る習慣をつける。</p>		

科目名	授業名	担当教員
就職研究Ⅰ	就職研究Ⅰ(AF1)	河合 加奈代 (実務家)
開講年度	開講学期	単位数
2026年度	前期	1
科目のねらい		
就職の目的を意識した自己分析を行い、能力や人的適正に合った業界や職種を探る。就職活動の流れを意識し、主体的に就職活動に取り組めるようにする。グループワークを通して、コミュニケーション能力を培う。		
授 業 の 概 要		
《実務経験のある教員による授業科目》エアライン業界での勤務経験のある教員が担当。航空業界の状況と特性を理解し求められる人材を理解する。航空会社や全国の空港所在地ごとのハンドリング会社を知ることで、就職活動に繋げる。配布プリントを中心に自己分析を行い、自身の能力や強み弱み、志向を探る。自己分析の結果をもとに航空業界にこだわらず他の業界や職種への理解を深める。履歴書作成、作文、業界・職種研究、面接試験のノウハウの修得と対策を行う。		
授業終了時の到達目標		
【専門知識スキル】： 1. 航空業界の求人特性を理解する。 2 自己分析を行うことができる。その結果を活かし、自身の強み弱み、志向を知ることができる。 3. 履歴書の基本的な作成ができる。 4. 社会にどのような仕事があるか、業界、職種の知識を深め、業界研究、職種研究の進め方を理解する。 【社会人基礎力】：社会に適応できる基本的な知識や発信力を得る。		
回	テ ー マ	内 容
1回目	オリエンテーション 科目の狙い、到達レベル、就活ステップとスケジュール	(1) 科目の狙い、オリエンテーション (2)到達レベルの目標 (3)講義スケジュールの説明 (4)就活ステップとスケジュール
2回目	航空業界の現状と就職活動への影響	(1)コロナ禍前後の航空業界について (2)コロナ回復による求人への影響について (3)近年のOB・OGの就職状況について
3回目	(1) キャリアとは (2) 自己分析の必要性	(1) 外的キャリアと内的キャリア (2) 業界や職種選び、ESや面接の準備をするためには何が必要か考える。
4回目	自己分析1	・マイエンブレム ・わたしは誰？
5回目	自己分析2	・やる気のもとは何？ ・出会い
6回目	自己分析3	人生線分析
7回目	自己分析4	キャリアアンカー
8回目	航空会社の比較	航空機種類・路線・基地空港・企業理念・取り組みなど
9回目	航空業界の様々な仕事	(1) FA・GS以外の仕事や役割 (2) 会社同士の関りと航空機運航 (3) 航空会社とハンドリング会社
10回目	ハンドリング会社の仕事	航空貨物・W&B・ランプハンドリング
11回目	航空会社と安全	安全運航に対する意識が持てる。 FA・GSの職種からそれぞれの安全を考えることができる。
12回目	会社を描く	わたしのカイシャ
13回目	(1) 自己分析6 (2) 自己分析の整理	(1) もっともな、モットー (2) いままでの自己分析を整理する。
14回目	履歴書の書き方	履歴書(右側)、自己紹介書は何を見られ、どのようにアピールするのか ※志望動機は省略可
15回目	キャリアシュミレーション	就職後の職業生活のイメージ(就業イメージ)を伝えるためのグループワーク
教科書・教材		
(1) テキスト使用予定あり(後日連絡) (2) 事前配布プリント		
評価項目(評価の方法)		
【評価項目(評価の方法)】： (1) 授業への取り組み姿勢(授業内課題、配付資料の理解度)…30% (2) 課題の提出及び提出物の内容の充実度・完成度の評価…30% (3) グループワークや発表の評価…20% (4) 出欠点(発身だしなみ)…20%		
その他		
【受講ルール等】： (1) 使用テキストと配布プリントは必ず持参する。(2) 課題の提出期限は原則として授業開始時であり、積極的に取り組み、期限を守ること。提出できない場合は、自ら申し、講師の指示に従うこと。		

科目名	授業名	担当教員
就職研究Ⅱ	就職研究Ⅱ(AF2)	水野 泰子(実務家)
開講年度	開講学期	単位数
2025年度	後期	1

科目のねらい

採用試験の関門のひとつである「書類選考」の対策として、企業研究からの志望動機作成とエントリーシート作成の練習を行う。前期の「就職研究Ⅰ」で行った自己分析をベースに、エアライン受験のエントリーに必要な書類準備および面接準備を進める。

授業の概要

《実務経験のある教員による授業科目》エアライン業界での勤務経験のある教員が担当。エアライン業界勤務経験者が、その視点からエントリーシート作成の指導を行う。航空業界の特性・FA/GSに必要なスキル・各企業の特色と求める人材像への理解を深め、それにマッチする自分のアピールポイントを見つけ言語化・文章化して、志望動機をはじめ自己PR(ガクチカ)や各企業エントリーシート内の人間性を問う質問への回答に落とし込めるようにする。

授業終了時の到達目標

【専門知識スキル】：①専門学校で学ぶ自分が持つスキルや経験を言語化・文章化し、企業へ向けて効果的にアピールできるようになる。②就職活動スケジュールを把握し、必要な事前準備を主体的に進めてスムーズに就職活動に入れる。

【社会人基礎力】：主体性、実行力、課題発見力、計画力、発信力。就職活動に必要な事前準備を把握し、計画性を持って取り組むことができる。

回	テーマ	内容
1回目	オリエンテーション 自己紹介 前期授業の振り返り 就活の軸	授業概要とねらい・到達目標・講義計画について説明する。 前期の学習を振り返り、後期の課題について考える。就活の軸を固める。
2回目	業界研究：①航空業界の採用試験を知る ②FA/GSの業務内容を知る	FA/GSの採用試験(時期・選考フローなど)を学び、就活スケジュールを意識する。FA/GS業務の魅力について考え、なぜFA?GS?の志望動機を固める。
3回目	企業研究：①企業研究の仕方を学ぶ ②JALとANAを研究する	JAL/ANAの企業研究シートを作成し、比較して違いについて考える。その上でそれぞれの魅力について考え、なぜJAL?ANA?の志望動機を固める。
4回目	志望動機作成1：FA/GS志望動機①	自分の職業観について整理する。 志望動機作成のポイント(STEP1～STEP4)を学び、作成してみる。
5回目	志望動機作成2：FA/GS志望動機②	FA/GS志望動機を完成させ発表する。 互いの志望動機について良い点・改善点などの意見交換をする。
6回目	志望動機作成3：企業別志望動機①	企業別志望動機作成の注意点および作成のポイント(STEP1～STEP4)を学ぶ。企業研究からJALまたはANAのどちらかを選び、作成してみる。
7回目	志望動機作成4：企業別志望動機②	JALまたはANAの志望動機を完成させ発表する。互いの志望動機について良い点・改善点などの意見交換をする。
8回目	自己PR作成1	自己PR作成のポイントと注意点を学び、作成してみる。(1分版)
9回目	自己PR作成2	自己PR(1分版)をもとに30秒版を作成してみる。 1分版を発表し、互いに意見交換する。
10回目	エントリーシート対策1	エントリーシートとは 作成時の全体的な注意点 写真について 基本情報について 設問のとらえ方 各企業のエントリーシート
11回目	エントリーシート対策2	ANAエントリーシートを作成してみる。設問の意図を考える。
12回目	エントリーシート対策3	JALエントリーシートを作成してみる。設問の意図を考える。
13回目	エントリーシート対策4	JAL/ANA以外の企業のエントリーシートの設問に回答してみる。
14回目	エントリーシート対策5	和文履歴書と作成上の注意点 動画審査について
15回目	"WEB面接対策 まとめ"	"PC設定とZoomのコツ WEB面接時の注意点 まとめ"

教科書・教材

「外資系・国内系エアライン 客室乗務員グランドスタッフの採用試験の傾向と対策」 配布プリント

評価項目(評価の方法)

"授業態度(課題への取り組み姿勢と学習意欲)40%、課題の提出および内容の充実度・完成度の評価40%、出欠席20%  
欠席・遅刻・早退は回数に応じて減点する。"

その他

"受講ルール：スーツを着用し、髪型などもエアライン就職研究の授業に相応しい身だしなみで受講する。  
その他：授業の進捗状況により、内容を変更する可能性がある。"

科目名	授業名	担当教員
Language Skills Development I	Language Skills Development I (1)	牧山 磨美 (実務家)
開講年度	開講学期	単位数
2026年度	前期	1

科目のねらい

各自目標とする資格試験の対策として、4技能のスキルアップを目標とする。

授業の概要

《実務経験のある教員による授業科目》エアライン業界での勤務経験のある教員が担当。ゴール設定している英検やTOEICのスコアに向けて、各自苦手分野を重点的に対策をおこなう。各種質問対応、文法解説、writing添削もおこなう。

授業終了時の到達目標

それぞれの目標（TOEIC目標点または英検目標級など）を達成し資格試験の合格。

回	テーマ	内容
1回目	自己紹介とオリエンテーション	自己紹介、講義説明、授業の進め方とプラン、自己学習の進め方など
2回目	英語力 4技能のスキルアップと苦手克服	各自の教材を用いて学習を進める、都度質問対応、個別添削等
3回目	英語力 4技能のスキルアップと苦手克服	各自の教材を用いて学習を進める、都度質問対応、個別添削等
4回目	英語力 4技能のスキルアップと苦手克服	各自の教材を用いて学習を進める、都度質問対応、個別添削等
5回目	英語力 4技能のスキルアップと苦手克服	各自の教材を用いて学習を進める、都度質問対応、個別添削等
6回目	英語力 4技能のスキルアップと苦手克服	各自の教材を用いて学習を進める、都度質問対応、個別添削等
7回目	英語力 4技能のスキルアップと苦手克服	各自の教材を用いて学習を進める、都度質問対応、個別添削等
8回目	英語力 4技能のスキルアップと苦手克服	各自の教材を用いて学習を進める、都度質問対応、個別添削等
9回目	英語力 4技能のスキルアップと苦手克服	各自の教材を用いて学習を進める、都度質問対応、個別添削等
10回目	英語力 4技能のスキルアップと苦手克服	各自の教材を用いて学習を進める、都度質問対応、個別添削等
11回目	英語力 4技能のスキルアップと苦手克服	各自の教材を用いて学習を進める、都度質問対応、個別添削等
12回目	英語力 4技能のスキルアップと苦手克服	各自の教材を用いて学習を進める、都度質問対応、個別添削等
13回目	英語力 4技能のスキルアップと苦手克服	各自の教材を用いて学習を進める、都度質問対応、個別添削等
14回目	英語力 4技能のスキルアップと苦手克服	各自の教材を用いて学習を進める、都度質問対応、個別添削等
15回目	英語力 4技能のスキルアップと苦手克服、前期総復習	各自の教材を用いて学習を進める、都度質問対応、個別添削等、個別カウンセリングを含む最終確認

教科書・教材

各自持参の教材を使用、クラス内でも別途プリント配布

評価項目（評価の方法）

資格試験合否及び目標達成率40%、出席点30%、平常点30%

その他

科目名	授業名	担当教員
Language Skills Development II	Language Skills Development II (3)	高村 優子 (実務家)
開講年度	開講学期	単位数
2025年度	後期	1

科目のねらい

航空業界で必要とされる英語力と接客スキルを実践的に身につけることを目的とします。空港・機内での業務に対応できる表現力と、乗客に対するホスピタリティを養います。

授業の概要

《実務経験のある教員による授業科目》エアライン業界での勤務経験のある教員が担当。この授業では、国内線・国際線のチェックイン、搭乗案内、機内サービス、乗り継ぎ対応など、航空業務に関連する場面を想定した英語表現を学びます。ロールプレイや実践的な会話練習を通じて、現場で求められる対応力を高めます。また、TOEIC形式の問題演習を取り入れ、英語力の向上も図ります。

授業終了時の到達目標

1. 空港および機内での基本的な業務を英語で説明・対応できるようになる。2. 乗客の状況に応じた適切な接客表現を使い分けられるようになる。3. TOEICのスコアアップを目指し、航空業界で通用する英語力を身につける。4. 実務を想定したロールプレイを通じて、即戦力としての対応力を養う。

回	テーマ	内容
1回目	オリエンテーション、自分が入社したい会社が求める英語レベルを把握する。就職活動に必要なマインドセットについて。	各自が志望航空会社が求める英語レベルに達しているかを確認し、就職活動に必要な心構えやコミュニケーション姿勢を考えます。志望企業の英語要件を明確にして、就活で求められる心構えを理解し、自身の目標設定ができるようになります。
2回目	Ticketing for a domestic flight	国内線発券業務に関する英語表現（予約確認、運賃説明、eチケット発行）を導入し、ペアワークによるロールプレイを実施。国内線チェック発券時に必要な基本表現を理解し、正確に運用できるようになります。
3回目	Domestic flight check-in	チェックインカウンターでのやり取り（パスポート/ビザ確認、手荷物許容量、座席案内）をケーススタディ形式で学習し、ロールプレイで実践。国内線チェックイン時の一連の会話フローをスムーズに実践できることを目指します。
4回目	Welcome aboard	搭乗ゲートでの案内（搭乗券確認、シートナンバー案内、機内への誘導）に使う定型表現を習得し、実践的なアナウンス練習を行う。自信を持って搭乗されるお客様をお迎えし、離陸前の状況に応じた対応ができるようになります。
5回目	Before takeoff	離陸前アナウンス（安全確認、シートベルト着用、手荷物収納）の英語表現を構造ごとに分析し、発音・イントネーション練習を行う。離陸直前の安全案内を正確かつ明瞭にアナウンスできるようになります。
6回目	International flight check-in	国際線チェックイン特有の手続き（パスポートコントロール、税関申告用紙の説明、入国要件案内）の英語表現を学習し、模擬カウンター演習を行う。国際線チェックイン業務に必要な英語を適切に運用できるようになります。
7回目	Airport lounge	ラウンジ利用案内（アクセス条件、施設案内、ドリンク・軽食の提供方法）に必要な英語表現を導入し、ロールプレイで実践。ラウンジサービスに関する問い合わせ対応をスムーズに英語でこなせるようになります。
8回目	TOEIC実践問題	TOEIC Part 1~3のリスニング問題とPart 5~7のリーディング問題の一部を実施し、解答テクニックとタイムマネジメント指導を行います。役立つTOEICスコアアップのポイントを押さえ、スピーディに回答できるコツを学習します。
9回目	In-flight service	機内サービス英語（飲食提供、体調確認、乗客への配慮表現）を学習し、ケーススタディによる丁寧な対応ロールプレイを行う。乗客への機内サービスをスムーズかつホスピタリティを持って英語で実践できることを目標とします。
10回目	In-flight sales	機内販売（免税品、グッズ紹介、支払い対応）に使う英語表現を学習し、模擬販売演習を実施。機内販売シーンで顧客心理を意識しながら的確に商品を提案できるようになります。
11回目	Assisting transit passengers	乗り継ぎ客案内（乗継便案内、ターミナル移動、乗継証明書発行）の英語表現を導入し、ペアワークによる実践ロールプレイを実施。乗り継ぎ客への案内を的確かつ丁寧に英語で行い、スムーズに誘導できるようになります。
12回目	Baggage issues	手荷物紛失・破損、超過料金、セキュリティチェックでのトラブル対応の英語表現をケーススタディで学習し、クレーム対応ロールプレイを行う。荷物トラブル時に冷静かつ的確に英語で対処し、信頼を回復するコミュニケーションができるようになります。
13回目	Passenger care	体調不良や特別支援が必要な乗客への対応表現（医療要請、車椅子サポート、ベビーカー対応）を学習し、チーム対応演習を行う。多様な要望・緊急時にも適切で思いやりのある英語対応ができることを目標とします。
14回目	Before landing	着陸前アナウンス（税関案内、気象情報、到着ゲート案内）を分析し、ナチュラルなアナウンス練習を行い、発音・リズム強化を図る。着陸前の案内を正確かつ自然な英語でアナウンスできるようになります。
15回目	定期試験	これまで学習したことがどれくらい理解し実践できるかを確認します。就職活動に向けて、自主的な学習計画を立てられるようになります。

教科書・教材

プリント配布。

評価項目（評価の方法）

期末試験30%、ロールプレイ実技・語彙や表現の小テスト40%、授業参加度・積極性15%、課題提出15%。

その他

授業の内容は変更する可能性があります。欠席した場合は、授業外で指定された課題に取り組み、次回の授業に支障が出ないように準備してください。遅刻して授業に参加する際は、必ず講師に声を掛けてから着席してください。グループ活動では、協調性・積極性・責任感も評価の対象となります。互いに協力し、円滑なコミュニケーションを図るよう努めてください。ロールプレイや課題提出後には、個別またはグループでのフィードバックを行います。改善点や良かった点を振り返ることで、次回のパフォーマンス向上につなげましょう。

科目名	授業名	担当教員
Airline English	Airline English(1)	日下 清佳 (実務家)
開講年度	開講学期	単位数
2026年度	前期	1

科目のねらい

本科目は、客室乗務員およびグランドスタッフとして航空業界で求められる実践的な英語運用能力を養成することを目的とする。英語面接対応力、空港・機内での接客英語、クレームおよび緊急時対応英語を体系的に学び、採用試験および実務に対応できる基礎力を身につける。

授業の概要

《実務経験のある教員による授業科目》エアライン業界での勤務経験のある教員が担当。本授業は発話中心の実践型授業である。自己紹介や志望動機の英語表現から始まり、Behavioral Interview対策、空港・機内での接客英語、クレーム対応、Safety & Emergency Englishまで段階的に学習する。ロールプレイや模擬面接を通して、本番を想定した実践練習を行い、最終的にFinal Performance Testで総合的な運用力を確認する。

授業終了時の到達目標

本授業修了時、学生は以下を達成することを目標とする。1.英語で1分間の自己紹介および志望動機を明確に述べることができる。2.行動面接 (Behavioral Interview) において、自身の経験を構造的に説明できる。3.空港および機内における基本的な接客英語を適切に使用できる。4.クレーム対応および緊急時において、落ち着いて簡潔な英語で対応できる。5.航空業界の採用面接および実務場面に適切に対応できる基礎的な英語運用力とプロフェッショナルな態度を身につける。

回	テーマ	内容
1回目	Orientation	授業の概要および航空業界で求められる英語について理解する。自己紹介のミニ体験を通して現状を認識する。英語習得に向けた目標を設定する。
2回目	Self Introduction (共通)	英語面接の基本として、簡潔かつ印象に残る自己紹介を目指し、自己紹介の構成及び印象に残る話し方を身に付ける。
3回目	Why Airline Industry? Why FA/GS? (共通)	なぜ航空業界なのか、なぜFA/GSなのかを深掘りし、説得力のある志望動機を英語で伝える方法を身に付ける。
4回目	Strength & Experience (共通)	自身の強みを英語で表現する方法、エピソードを効果的に伝える方法を身に付ける。
5回目	Behavioral Interview (共通)	行動面接の目的を理解し、とっさに英語で答えられる回答の基本構造 (STAR法) を学ぶ。
6回目	Airport English Basics (GS)	GS業務を中心に、Check-in時、パスポート確認時、搭乗案内時の基本フレーズを身に付ける。
7回目	Irregular Operations (GS)	イレギュラー時の対応として、運航遅延、キャンセル、オーバーブッキング時の基本フレーズを身に付ける。
8回目	Complaint Handling (GS)	クレーム旅客への対応として相応しい基本フレーズを身に付ける。
9回目	Cabin Service English (FA)	FA業務を中心に、機内サービスの基本フレーズを身に付ける。
10回目	In-flight Problems (FA)	機内でのトラブル対応として必要な基本フレーズを身に付ける。
11回目	Small Talk & Hospitality English (共通)	短い会話でお客様との距離を縮める力を身に付ける。
12回目	Safety & Emergency English (共通)	安全に関わる場面で、短く・正確に・落ち着いて伝える英語を身に付ける。
13回目	Group Discussion in English (共通)	外資系エアライン対策として、英語でのグループディスカッションのポイントを学ぶ。自身の意見を英語で述べられる力を身に付ける。
14回目	Full Mock Interview (共通)	本番形式の模擬面接を行う。
15回目	Final Performance Test (共通)	最終の実技試験を行う。

教科書・教材

適宜プリントを配布します。各自、パソコンやノートを持参し、授業内容、情報の整理をしてください。

評価項目 (評価の方法)

①平常点 (受講態度、発話参加) 30% …授業への積極的な参加姿勢、英語での発話への挑戦、ロールプレイやグループワークへの貢献度を評価する。②テスト・課題提出 20% …航空業界特有の英語表現や語彙の定着度を確認する小テストおよび課題提出の内容、提出期限の遵守を含め総合的に評価する。③実技評価① (Full Mock Interview) 20% …英語面接場面における内容の論理性、英語運用能力 (発音・流暢さ)、態度・表情・印象面を総合的に評価する。④実技評価② (Final Performance Test) 30% …実践場面における適切な英語表現、ホスピタリティ、冷静な対応力、プロフェッショナルとしての総合力を評価する。※欠席、遅刻および早退は、その回数に応じて減点し、総合的に評価します。

その他

進捗状況により、内容を変更する可能性があります。各回でグループワークやペアワークを行います。仲間と協働する姿勢が見られない場合は、受講を認めないことがあります。

科目名	授業名	担当教員
実践ビジネスマナー	実践ビジネスマナー(a)	弓矢 玲子 (実務家)
開講年度	開講学期	単位数
2025年度	後期	1
科目のねらい		
社会人としての心構えを持ち、社会における人間関係を円滑にするための知識を習得する。実際の社会に出てから困らないためのビジネスマナーを身につける。		
授業の概要		
《実務経験のある教員による授業科目》エアライン業界での勤務経験のある教員が担当。ビジネスにおけるマナー、コミュニケーション力を身につけるために、ロールプレイングを主流に展開していく。		
授業終了時の到達目標		
《実務経験のある教員による授業科目》エアライン業界での勤務経験のある教員が担当。【専門知識スキル】敬語、電話応対、名刺交換を含む来客応対、各種応対動作やクレーム対応をロールプレイにより身につけ、社会に出てから自信を持って実践できるようになる。【社会人基礎力】主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、規律性、ストレスコントロール能力、創造力はもとより、チームで働く人として発信力、傾聴力、柔軟性、情報判断力、瞬時の状況判断力を身につける。		
回	テーマ	内容
第1回	科目の狙い、到達レベル、ルール、講義計画等の説明・現状を認識する	科目の狙い、到達レベル説明。自分の現状把握
第2回	社会人としての心構え、人間関係構築の基本、第一印象の重要性	仕事に取り組む心構え、会社組織の仕組み、職場の人間関係、人間関係構築のための基本。第一印象を好印象にするためのポイントの再確認
第3回	コミュニケーション能力向上1	言葉遣いのポイント、敬語・話し方、聴き方
第4回	コミュニケーション能力向上2	話し方・聴き方、指示と報告
第5回	電話応対1	基本の流れ・取次人不在、伝言
第6回	電話応対2	各種問い合わせ・携帯電話のマナー
第7回	来客応対・訪問のマナー1	来客応対の流れ、指し示し、ご案内、ドアの開閉、上席、お茶出し、名刺の取り扱い、名刺交換、紹介の仕方、訪問のマナー
第8回	来客応対・訪問のマナー2	来客応対の流れ、指し示し、ご案内、ドアの開閉、上席、お茶出し、名刺の取り扱い、名刺交換、紹介の仕方、訪問のマナー
第9回	来客応対・訪問のマナー3	総合ロールプレイング
第10回	クレーム対応1	クレームのメカニズム、対処方法4つのステップ
第11回	クレーム対応2	ロールプレイング
第12回	クレーム対応3	ロールプレイング
第13回	冠婚葬祭マナー1	冠婚葬祭時のマナー、知識の習得。葬祭の流れ、テーブルマナー
第14回	冠婚葬祭マナー2	冠婚葬祭時のマナー、知識の習得。葬祭の流れ、テーブルマナー
第15回	まとめ、確認テスト	総復習
教科書・教材		
配布プリント		
評価項目（評価の方法）		
【評価項目】：出席点30%、平常点30%、ロールプレイングと確認テスト40%【評価の観点】：平常点は、授業態度、参加意欲、提出物、社会人を意識した言動を重視し、評価する。		
その他		
【受講ルール等】：時間厳守、積極的参加、社会人を意識した身だしなみを整えて参加する。身だしなみにおいて注意を受けた場合は、次回までに改善すること。（スーツ着用でなくても可）【その他】参加人数の状況に応じて内容の入れ替えが生じる可能性あり。		

科目名	授業名	担当教員
エアライン面接対策Ⅰ	エアライン面接対策Ⅰ(AF1)	弓矢 玲子(実務家)
開講年度	開講学期	単位数
2026年度	前期	1

科目のねらい

面接の基本的なルールやマナーである身だしなみの整え方、エアライン業界で必要な立ち居振る舞い(立ち姿、お辞儀等)表情、話し方のポイントを踏まえて実践していき、面接対応力を習得することを主眼とする。自己分析で知った自身の強みを自己PRとして面接の場で伝えられることを目標としてロールプレイングで表現力、コミュニケーション能力を高める。

授業の概要

《実務経験のある教員による授業科目》エアライン業界での勤務経験のある教員が担当。1. 面接の流れの習得。2. 好印象を与えるための身だしなみ、表情、挨拶、言葉遣い(敬語)、立ち居振る舞い、話し方のポイントの習得と実践。3. 自己分析で自分を理解し自己PRにつなげ、自己紹介とともに面接で伝える練習。4. 様々な面接の形態の理解、実習。5. 質問に対してのコミュニケーション力を身につけるための面接練習をする。

授業終了時の到達目標

【専門知識スキル】:1.面接に必要なマナー、コミュニケーション力を身につける(好印象を与える立ち居振る舞いと話し方)2.自己紹介、自己PRをはじめ、自分の事を自分の言葉で表現できるプレゼンテーション力を養う。 【社会人基礎力】:表現力、コミュニケーション力、分析力、発言力、発信力、傾聴力、柔軟性、課題発見力、エアライン業界のチームで働くものとしての瞬時の状況判断力を習得する。

回	テーマ	内容
1回目	科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明、自己紹介、第一印象アップ1/立ち姿	スピーチ/立ち姿実習
2回目	第一印象アップ2/お辞儀、表情、言葉遣い	お辞儀実習、表情練習、言葉遣いのポイント
3回目	第一印象アップ3/発声、身だしなみ、敬語	発声練習、面接時における身だしなみのポイント確認、敬語復習
4回目	面接基礎1/面接の種類、面接の流れ	身だしなみチェック、面接の種類を知る、面接の流れの把握、各動作実習/ドアの開閉、入室の仕方、歩き方、座り方、座り姿、立ち方
5回目	面接基礎2/自己紹介	自己紹介を考える
6回目	面接基礎3/自己分析	過去の自分を振り返る。自分の強みの書き出し
7回目	面接基礎4/自己PR1	自分の強みを知り、キーワードで流れを考える
8回目	面接基礎5/自己PR2	自己PR発表
9回目	面接実技1/グループ面接1	面接練習/一連の流れ、自己紹介、自己PR
10回目	面接実技2/グループ面接2	面接練習/一連の流れ、自己紹介、自己PR
11回目	面接実技3/グループ面接3	面接練習/一連の流れ、自己PR、質問応答
12回目	面接実技4/グループ面接4	面接練習/一連の流れ、自己PR、質問応答
13回目	模擬面接1/グループ面接ランスルー	面接練習/一連の流れ、自己PR、質問応答
14回目	模擬面接2/グループ面接ランスルー	面接練習/一連の流れ、自己PR、質問応答
15回目	振り返り	振り返り(グループディスカッション形式)、前期まとめ

教科書・教材

「客室乗務員グラウンドスタッフ採用試験の傾向と対策」、「CA GSエアライン受験対策書書き込み式テキスト」、配布プリント

評価項目(評価の方法)

出席点30%、平常点(課題提出、身だしなみ、授業態度、参加意欲)30%、模擬面接40%

その他

進捗状況により、内容が変わる可能性有り。【受講ルール】提出物の期限遅れの場合は評価時の減点となる。スーツを着用し、身だしなみは「エアライン学科ゼミの身だしなみ基準」に準じたものであること。身だしなみのルールに反している場合は評価時の減点となる

科目名	授業名	担当教員
エアライン受験対策Ⅰ	エアライン受験対策Ⅰ(AF2)	野崎 恵美 (実務家)
開講年度	開講学期	単位数
2025年度	後期	1

科目のねらい

採用試験突破のために、筆記試験対策を行う。  
 本科目では、非言語分野を中心に、正確に解く力を過去の採用試験や情報を通して習得する。

授業の概要

《実務経験のある教員による授業科目》エアライン業界での勤務経験のある教員が担当。非言語分野を中心に繰り返し問題を解くことで習得する。テキストを利用して主に出題されやすい問題を解いていくことで、当授業では筆記試験突破の力を身に付ける。苦手だからこそ克服しようと、挑戦する気持ちを大切にします。

授業終了時の到達目標

【専門知識スキル】： 時間内に正確な答えを導き出すことができるようにする。過去のエアライン試験の傾向を把握し効率よく準備することができる。

【社会人基礎力】：主体性、働きかけ力、実行力。計画性を持ち、日頃から採用試験に向けて努力を積み重ねる。苦手なものから逃げない力を身につけ成功体験を活かすことができるようになる。

回	テーマ	内容
1回目	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分) (2)レベルチェックテスト (3)エアライン受験における筆記対策	採用試験の傾向に沿った問題にチャレンジする。
2回目	濃度	公式を再確認し、問題に挑戦する。
3回目	速さ・距離・時間	公式を再確認し、問題に挑戦する。
4回目	言語問題	エアライン採用試験でも頻出問題に挑戦する。
5回目	ものの値段と個数	数学の基本知識を見直す。
6回目	定価・原価・利益	公式を再確認し、問題に挑戦する。
7回目	割合と値段 仕事算	頻出問題を知り、公式を覚えて解けるようにする。
8回目	表の読み取り	エアライン採用試験でも頻出問題に挑戦する。
9回目	資料の読み取り	日常生活でも役立つ分野について再確認する。
10回目	集合 推論	基礎知識を活かし、様々な問題に挑戦する。
11回目	確率	公式を再確認し問題に挑戦する
12回目	エアライン試験過去問 頻出問題(予備日)	過去の採用試験情報から、頻出問題も取り上げ問題を解く。理解が難しい単元などを補う。
13回目	エアライン試験過去問 頻出問題(予備日)	過去の採用試験情報から、頻出問題も取り上げ問題を解く。理解が難しい単元などを補う。
14回目	総まとめ	予備日
15回目	定期テストの実施	筆記試験

教科書・教材

2027年度版 ドリル式 SPI問題集

評価項目(評価の方法)

【評価項目(評価の方法)】：授業態度40%、出欠席30%、定期テスト30%  
 なお、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。【評価の観点】：試験対策に向けて勉強できているか。  
 解けない問題対して最後まで取り組んでいるか。

その他

【受講ルール等】：資料配布物は指示に従い授業に持参。課題の提出は期日厳守とする。講義内容は授業の進捗状況により、変更の可能性あり。  
 【その他】：グループワークも適宜取り入れ実施。オンライン授業導入などの事情により、授業内容の大幅変更の可能性あり。

科目名	授業名	担当教員
セルフクリエーションⅠ	セルフクリエーションⅠ(AF1)	弓矢 玲子 (実務家)
開講年度	開講学期	単位数
2026年度	前期	1

科目のねらい

授業を通して自分自身の適正を知り、目指す業界へアピールする具体的な対策を講じる。挨拶や身だしなみ、ヘアメイク実習を通して、社会人として通用する外見、優雅な身のこなしとマナーを身に付けたいうえで、自分らしさを表現する方法を見つける。

授業の概要

《実務経験のある教員による授業科目》エアライン業界での勤務経験のある教員が担当。航空業界を始めとした高度な接客技術が必要な職業に就くために必要な要素の理解を深める。具体的には来年の就職活動に向けての清潔な身だしなみ、第一印象で差をつける挨拶、魅力的な表情、エレガントな立ち居振る舞い、正しい敬語を含む適切な話し方を実習する。総仕上げとして自身を最大限にアピールした自己PR動画（自己紹介動画）を作成する。

授業終了時の到達目標

【専門的スキル】 1. 外観を磨き、エレガントな身のこなしとマナーを身につける。（社会人として通用する身だしなみ、ヘアメイクや挨拶、言葉遣い、立ち居振る舞い） 2. 自分自身をアピールする方法と自分らしさを表現する方法を知り、就職の際の面接やマナースキルを上げる。 3. 自身の強みを印象付ける自己PR動画（自己紹介動画）を完成させる。【社会人基礎力】表現力、課題発見力、実行力、自己演出力を習得する。

回	テーマ	内容
1回目	科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明、自分自身を知る	自分の第一印象を知る
2回目	目指す業界の人となるために必要なスキル	エアライン業界に求められる人材、必要なスキル、就職活動について考える
3回目	魅力的な第一印象1/身だしなみ	社会人として仕事をする上での身だしなみのポイントを知る。またスーツの着こなし、ビジネスシーンにふさわしいビジネスカジュアルを学ぶ
4回目	魅力的な第一印象2/メイク	エアライン業界でのメイクのあり方
5回目	魅力的な第一印象3/ヘア	エアライン業務でのヘアのあり方
6回目	魅力的な第一印象4/自分に似合う色、服装を見つける	自分らしい服装とは？自分の個性を活かすカラーを見つける
7回目	魅力的な第一印象5/立ち居振る舞い	感じの良い挨拶、表情、しぐさ、ウォーキング
8回目	魅力的な話し方1/言葉遣い	正しい敬語を学ぶ。敬語を使って話す
9回目	魅力的な話し方2/言葉選び	どのような言葉で話すのが良いのか感情を載せて人に伝える練習をする 自身の魅力をアップするためのポイントを確認する
10回目	自己PR動画1/自己PR動画について	自己PR動画の目的、方法説明・自身の紹介方法、内容決め
11回目	自己PR動画2/自己紹介動画作成	動画作成
12回目	自己PR動画3/自己紹介動画作成	動画作成
13回目	自己PR動画4/評価	相互評価
14回目	自己PR動画5/振り返り	フィードバック
15回目	総復習	自己紹介動画を見つめ直し、話し方、言葉遣い、表情、美しい所作、エレガントな身のこなし等を復習する

教科書・教材

「CA GSエアライン受験対策書き込み式テキスト」、配布プリント

評価項目（評価の方法）

出席点30%、平常点（課題提出、身だしなみ、授業態度、参加意欲等）30%、自己PR動画（自己紹介動画）40%

その他

進捗状況により、内容が大きく変わる可能性有り。【受講ルール】提出物の期限遅れの場合は評価時の減点となる。スーツを着用し、身だしなみは「エアライン学科ゼミの身だしなみ基準」に準じたものであること。身だしなみのルールに反している場合は評価時の減点となる

科目名	授業名	担当教員
エア・トラベル概論	エア・トラベル概論(b)	弓矢 玲子 (実務家)
開講年度	開講学期	単位数
2026年度	前期	1
科目のねらい		
エアライン業界・トラベル業界の従事する者の立ち場と消費者・利用者の立場、双方の視点から、その分野に関する幅広い知識を習得することを目的とする。旅行や航空の雑学知識を学ぶ。		
授 業 の 概 要		
《実務経験のある教員による授業科目》エアライン業界での勤務経験のある教員が担当。エアラインに関連したトラベルの面白さを学び、旅行、エアライン、ホテルなど観光業界の就職につなげる。日本・世界について観光地理・世界遺産・見所などを学ぶ。		
授業終了時の到達目標		
【専門知識スキル】：エアライン・トラベルの知識を習得する。 【社会人基礎力】：主体性、働きかけ力、実行力。（詳細は、各講の「当授業でのターゲット社会人基礎力」部分参照）。課題発見力を通して、主体的に行動し、各自に発信しながら、テーマの課題について問題点を見出す能力を身につける。		
回	テ ー マ	内 容
1回目	科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明	科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明
2回目	日本列島を知る	日本地図、都道府県を確認する
3回目	日本の見どころ再発見	日本のさまざまな名所・観光スポットを学ぶ
4回目	地元再発見1	自分の地元を紹介してみよう！
5回目	地元再発見2	地元のことをクラスメートに分かりやすくプレゼンテーションする。発表者以外は、適切な質問が出来るようにする
6回目	国内線の路線を知る	国内の空港、航空会社を知り、その土地の名産、名物を学ぶ
7回目	世界を学ぶ1	世界地図、世界の名所を知り、知識を広げる
8回目	世界を学ぶ2／旅行プラン	興味を持った国、場所をプレゼンする
9回目	世界を学ぶ3／旅行プラン	興味を持った国、場所の旅行プランを完成する
10回目	世界を学ぶ4／旅行プラン	旅行プラン発表練習
11回目	世界を学ぶ5／旅行プラン発表1	旅行プランを発表する
12回目	世界を学ぶ6／旅行プラン発表2	旅行プランを発表する
13回目	世界を学ぶ7／旅行プラン発表3	旅行プランを発表する
14回目	確認テスト	これまでの知識の確認
15回目	振り返り	「エアトラベル概論」で学んだ知識の復習
教科書・教材		
配布プリント		
評価項目（評価の方法）		
出席点30%、平常点（課題提出、授業態度、参加意欲等）10%、プレゼン30%、確認テスト30%。		
その他		
進捗状況により、内容が大きく変わる可能性有り【受講ルール】提出物の期限遅れの場合は評価時の減点となる。スーツ着用の曜日であれば、身だしなみは「エアライン学科ゼミの身だしなみ基準」に準じたものであること。身だしなみのルールに反している場合は評価時の減点となる		

科目名	授業名	担当教員
FA・GS航空業務知識	FA・GS航空業務知識(AF2)	野崎 恵美 (実務家)
開講年度	開講学期	単位数
2026年度	前期	1

科目のねらい

フライトアテンダント (FA)とグランドスタッフ(GS)の役割、業務内容、空港の機能、航空機材の基礎知識などを学ぶ。また、CIQ、地理、時差、2&3レターコードなどを知り、実際に必要な業務知識を深める。就職活動の際には、採用情報を得て、試験準備を進めていく。

授業の概要

《実務経験のある教員による授業科目》エアライン業界での勤務経験のある教員が担当。即戦力になれるよう、FAやGSに必要な航空業界用語、運賃、手荷物等、覚える。各社の特色、サービス等の企業研究も学ぶ。業界のことを学びながら、立ち居振る舞いや、マナーも身につける。

授業終了時の到達目標

【専門知識スキル】：業界用語、専門知識を習得する。整理してノートにまとめる力をつけ、就職活動に活かす。毎回2&3レターのミニテストを行い定着を目指す。【社会人基礎力】：FA、GSとしての課題発見力の習得を目指す。積極性と社会人としての振る舞いを習得する。

回	テーマ	内容
1回目	科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明 (30分) 航空業界ニュース 採用情報	エアライン業界について 就活までの流れ、必要な資格、インターンシップ、空港見学について
2回目	航空業界を知る モックアップ見学 2レター、3レターの基本	採用試験の流れ、業界の流れ。モックアップを使って各名称も覚える。2レター3レターの基本を覚える。
3回目	航空業界を知る	CA、GSの仕事内容、会社概要、勤務等
4回目	空港の仕事を知る	オペレーション、貨物、予約、営業、グランドハンドリング、整備、インフォメーション、免税、ラウンジ、ケータリング、管制官、CIQ等
5回目	モックアップ体験	モックアップで実際にサービスを通じて、振る舞い方を知る
6回目	モックアップ体験	"
7回目	航空業界用語	略語の意味
8回目	3レター、2レター グランドスタッフについて	空港3レター、エアライン2レターを覚える。 GSの使命とは。
9回目	CAとGSの関わりや実際の業務体験	空港の業務の流れと、アナウンス等の体験
10回目	CA、GSの仕事	勤務、資格、採用試験に合格するには
11回目	モックアップ体験	今まで習ったことを元に、グループで仕事をシミュレーションする
12回目	モックアップ体験	"
13回目	CIQなど	国内、国際の手荷物のルール、関税などを知る
14回目	予備日(時間が足りなかった単元を補うため、または講演など)	まとめ これまでの復習
15回目	定期テスト	60分テスト 30分解説

教科書・教材

内定者のためのエアライン英語マニュアル

評価項目 (評価の方法)

【評価項目 (評価の方法)】 期末試験 20% 出欠席 30% 授業態度 30% 2&3レターのミニテスト 20%。期末テストは自分がまとめたノートのみ持ち込み可。コピー禁止。社会の状況により、見学が入る可能性あり。その場合、授業内容が大きく変更される可能性があります。

その他

【受講ルール等】 積極的に取り組むこと。

科目名	授業名	担当教員
FA業務演習	FA業務演習(a)	野崎 恵美 (実務家)
開講年度	開講学期	単位数
2025年度	後期	1

科目のねらい

本科目では、客室乗務員の業務内容を学ぶことを通して、細かな配慮や、相手を思いやる気配りを学び、面接時に自然な振る舞いが出来ること、選考過程に実務試験がある場合に対応できる接客スキル、サービス上の受け答え能力を身に付けることを最終目標とする。前半は接客コンテストに向けて準備を行う。授業中は、美しい所作を意識して参加すること。

授業の概要

《実務経験のある教員による授業科目》

エアライン業界での勤務経験のある教員が担当。客室乗務員の業務内容を座学およびロールプレイを通して学ぶ。接客業で必要とされるスキルや資質を研究し、ロールプレイを通して体得する。

授業終了時の到達目標

【専門知識スキル】客室乗務員の業務内容、およびその行動の意味を理解し、振舞うことができるようになる。美しい所作を身につけ、行動することができる。【社会人基礎力】主体的に行動することができるようになる。かつ、他人を思いやる振舞いが出来る協調性を身につける。各国のお客様とのコミュニケーションに困らない会話力を身につける。チームと協力しながら働く趣旨を考え理解することができるようになる。

回	テーマ	内容
1回目	接客コンテストについて、シラバス確認	目標、到達レベル、進め方、計画を説明。過去の接客コンテストのDVDを鑑賞、チーム分け。初回の前半は2クラス合同で情報共有を行う。
2回目	接客コンテストに向けて 「テーマ決め」シナリオ作成	各グループでシナリオを考える
3回目	接客コンテストに向けて 「シナリオ作成」	各自が担当するシナリオ（考えてきた内容）についての深掘、チーム内での意見交換。
4回目	接客コンテストに向けての練習	実践を通して、どのような言葉遣い、所作、受け答えが良いのかを考える。
5回目	接客コンテストに向けての改良	実践を通して、どのような言葉遣い、所作、受け答えが良いのかを考える。
6回目	接客コンテストに向けて 中間チェック	現時点での問題点の検証を行い、意見交換をする。
7回目	グループでの通し練習、制限時間に合わせて調整	前回授業で見つけた改善点に取り組む。
8回目	接客コンテスト直前リハーサルに向けての仕上げ。 全体の通しリハーサルに向けての確認と仕上げ。	前回授業で見つけた改善点に取り組む。 小物、使用アイテムの最終確認。
9回目	接客コンテスト直前リハーサル前確認。 時間管理の確認。	全体の通しリハーサルに向けての確認と仕上げ。 時間管理の確認接客コンテスト直前リハーサルに向けての仕上げ
10回目	接客コンテスト直前リハーサル	GS専攻クラスと合同・本番同様の全体を通してのリハーサル
11回目	接客コンテスト振り返り	接客コンテストの振り返り。コンテストのDVDを視聴し、客観的に振り返る。講師から個々にアドバイス。
12回目	接客コンテスト振り返り	接客コンテスト振り返り。個々のアドバイスと、研究。
13回目	サービスのロールプレイ、実技(予備日)	機内販売、免税販売のサービスの実習。(接客コンテストの練習に充てる可能性あり)ビデオ視聴による仕事研究。
14回目	サービスのロールプレイ、実技2(予備日)	機内販売、免税販売のサービスの実習。(接客コンテストの練習に充てる可能性あり)ビデオ視聴による仕事研究。期末試験の練習。
15回目	期末試験	自分以外の学生が取り組んだサービス発表について学びチェックを受ける。

教科書・教材

なし。

評価項目（評価の方法）

【評価方法】

接客コンテスト40%(結果のみではなく、取り組み過程も評価対象)、授業態度40%(期末試験含む)、出席20%(身だしなみにより減点あり)

その他

【その他】授業の進捗状況により、必要に応じて適宜内容の変更あり。

科目名	授業名	担当教員
GS業務演習	GS業務演習(d)	大原 有希 (実務家)
開講年度	開講学期	単位数
2025年度	後期	1

科目のねらい

アナウンス練習を含めた、グランドスタッフのチェックイン業務などを体験学習し、実際の接客業務で役立つ実践的なスキルを身につけることを目的とする。接客コンテストを通じて実践演習をし、実務と接客の心得を学ぶ。接客コンテスト後は、前期で終了していない業務知識を中心に授業を行う。

授業の概要

《実務経験のある教員による授業科目》エアライン業界での勤務経験のある教員が担当。接客コンテストでの発表を目標に、各グループ、個人で、GSの接客を競う。アナウンスの基礎、カウンターでの接客の基本を学ぶ。

授業終了時の到達目標

【専門知識スキル】：何も見ないで、接客コンテストに自信を持って臨める。自分の行動の意味を考えてお客様に接する。 【社会人基礎力】：主体性、働きかけ力、実行力。(詳細は、各講の「当授業でのターゲット社会人基礎力」部分参照)。業務演習を通して、主体的に行動し、各自に発信しながら、実行力の習得を目指す。グループの中で果たすべき役割を見つけ、積極的に参加するスキルを身につける。

回	テーマ	内容
1回目	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明 (30分) グループ発表 コンテストの内容の把握、台本作り	昨年のコンテストのDVDを鑑賞し、イメージする。各グループに分かれて台本を考え始める。
2回目	接客コンテストに向けて	構成を練る。時間配分や役割配分をする。練習開始。
3回目	接客コンテストに向けて練習1	実際に演じてみて、内容を調整する。
4回目	接客コンテストに向けて練習2	アナウンス、発声練習、チェックイン、ゲートでのアナウンスを使い分ける。
5回目	接客コンテストに向けて練習3	チェックイン練習・挨拶の仕方・待機姿勢・表情。小道具確認。
6回目	接客コンテストに向けて練習4	さまざまなお客様のチェックイン。時間チェックをして台本の手直し。
7回目	接客コンテストに向けて練習5	お客様役としての演技も確認。スタンバイ時の動きや役割も確認。
8回目	接客コンテストに向けて練習6	演技仕上げ。小道具仕上げ。
9回目	接客コンテストに向けて練習7	グループ練習最終日。
10回目	総合リハーサル	通し練習。
11回目	接客コンテスト 振り返り	接客コンテストを振り返り、就職活動につなげる。
12回目	接客コンテスト 振り返り	接客コンテストを振り返り、就職活動につなげる。
13回目	接客コンテスト練習補助日	練習時間確保のため第9講授業日に行う。※通常授業の場合、空港見学で見学できなかった部分の説明。映像資料あり。
14回目	接客コンテスト練習補助日	練習時間確保のため第10講授業日に行う。※通常授業の場合、空港見学で見学できなかった部分の説明。映像資料あり。
15回目	定期テスト	まとめ・これまでの復習

教科書・教材

なし。必要な物(車いす等)は授業前に各自準備すること。

評価項目 (評価の方法)

【評価項目 (評価の方法)】：出欠席 30%、授業態度 30%、実技 40%

なお、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。

その他

接客コンテスト以降、見学等、予定が変更になる可能性有。